

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

ホームページでも
ご覧いただけます。

QR
コード



住みよい街 西柴団地



🔔 在宅避難のすすめ

地域の避難場所のスペースには限りがございます。大規模災害の際には、自宅とその周辺の安全が確認できれば在宅避難を考えてみてください。

在宅避難ができる人が増えるほど**本当に避難所が必要な人を守ることが**できます。

🔔 在宅避難のメリット

メリット①

生活環境を維持しやすい

普段住み慣れた場所で避難生活を送ることができる

- 自宅のトイレ・寝具・キッチンなど、慣れた環境をそのまま使える
- ペットがいる場合も安心して一緒に過ごせる など

メリット②

プライバシーの確保

プライバシーが守られやすい

- 慣れた空間で過ごすことで精神的な負担が軽減される
- 避難所の騒音や人間関係のストレスを避けられる など

🔔 在宅避難チェックポイント ～自宅で避難生活はできるのか～

地震発生!!



出典:イラストAC

危険なし

危険あり

在宅避難が可能

状況変化などで危険と判断したら

地域の防災拠点や友人・知人宅などへ避難

POINT 自宅のチェックポイント

- 隣家の倒壊や火災などの影響がない
- 倒壊(傾き)などの被害がない



備蓄は『最低3日分、できれば1週間分』

備蓄は『ローリングストック』
消費期限に合わせて定期的に
古いものから消費し、消費した分を補充



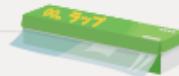
● 飲料水・食料品

- 飲料水 (1人1日3ℓ×家族の人数)
- 食料品 (缶詰、レトルト食品、フリーズドライ食品など)



● 日用品

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> トイレトペーパー | <input type="checkbox"/> 歯磨きセット | <input type="checkbox"/> カイロ | <input type="checkbox"/> LED ランタン |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> タオル類 | <input type="checkbox"/> ラップ | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ |
| <input type="checkbox"/> トイレパック | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー |
| <input type="checkbox"/> ポリ袋 | <input type="checkbox"/> 救急セット | <input type="checkbox"/> カセットボンベ | <input type="checkbox"/> 乾電池 |
| <input type="checkbox"/> 水のいらないシャンプー | <input type="checkbox"/> 常備薬 | | |



● 乳幼児のいる家庭の備え

- 紙おむつ
- 哺乳瓶消毒グッズ
- おしりふき
- 粉ミルク、液体ミルク
- おやつ
- 離乳食
- 哺乳瓶



● 要介護者のいる家庭の備え

- 介護食
- 補助具などの予備
- 大人用紙おむつ

● ペットのいる家庭の備え

- ペットフード
- ペット用トイレシート
- ケージ



👉 特に重要

大地震では、電気・ガスや水が止まったり、トイレの水を流せなくなるおそれがあります。そうした場合でも、安心して自宅で過ごせるよう、次の物を備えておきましょう。

水

1人3日分、9リットルが目安です。家族分準備しましょう。



モバイルバッテリー

災害時、停電が起きても、スマホ等を充電することができます。



カセットコンロ

停電やガスが止まっても温かい調理ができます。



トイレパック

1人1日5回×3日分の15個が目安です。

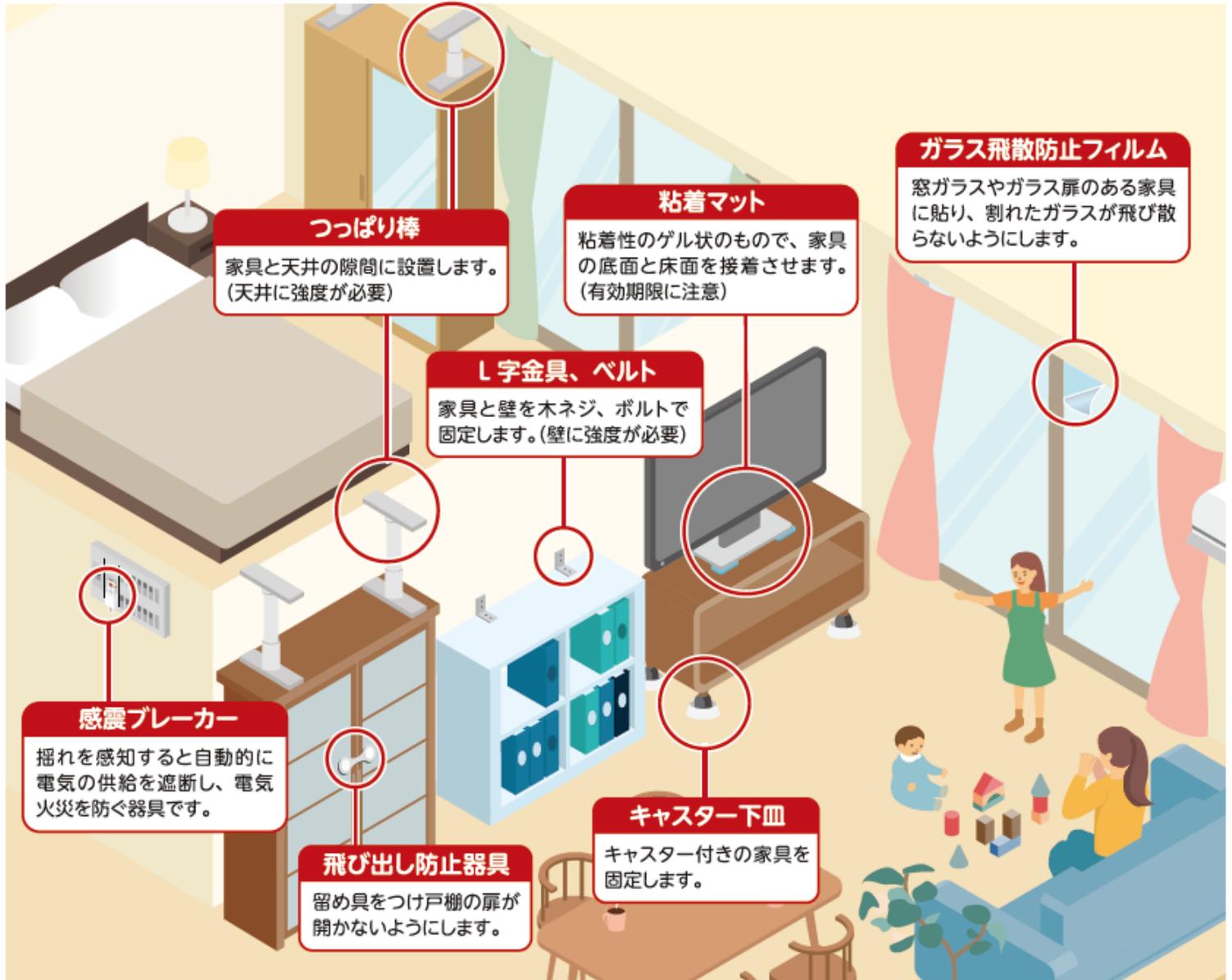


在宅避難の準備の基本 ~その②~



災害に強い家

家が倒壊しなくても家具が倒れたり、ガラスが割れたりすると在宅避難の妨げになります。家の中の対策をしっかりと行い、安全に在宅避難ができる環境を整えましょう。



出典:横浜市 在宅避難のすすめ



【ご参考】さらに詳しく知りたい方はこちらから



在宅避難のすすめ(出典:横浜市)

在宅避難を行うために必要な準備やメリットについて、さらに詳しく知りたい方は横浜市HPをぜひ、ご確認ください。



※日本経済新聞は2025年12月27日付の記事で、能登半島地震で同月4日までに災害関連死と認定された同県分の449人の年代や死因を公表しました。約98%が60歳以上の方で、電気・水道の途絶や社会福祉施設の被災などが死亡に繋がったそうです。皆さんも、今一度、防災に対する意識を徹底しましょう。

住宅用火災報知器の点検

2004年の消防法改正により、新築住宅は2006年6月1日、既存住宅は各市町村の条例に基づき2011年6月までに順次火災報知器の設置が義務付けられました。

火災報知器の交換目安は10年です。

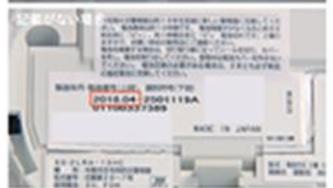
「いざ」というときに火災警報器が適切に作動するように、確認を行いましょう。



住宅用火災報知器の点検・交換

●点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋火災予防運動の時期に実施することを推奨)



反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう!

●交換の目安は10年

設置から10年以上の場合も**交換**しましょう!

設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。

新しく交換する際は、生活に適した機器を!

火災などの危険に対して、より安心できるさまざまな機能を兼ね備えた機器の設置を検討しましょう。

出典:総務省 消防庁 住宅防火関係

<https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/juukei.html>

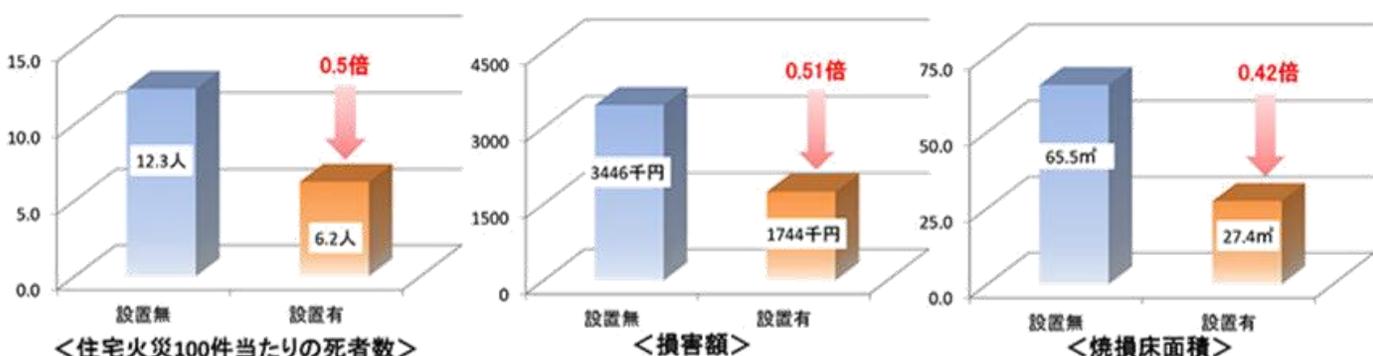
住宅用火災報知器の設置効果

住宅火災における被害状況を分析したところ、住宅火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、死者数と損害額は半減、焼損床面積は約6割減した結果となります。

(人/火災100件)

(千円/火災1件)

(㎡/火災1件)



出典:総務省 消防庁 住宅防火関係

<https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/juukei.html>